

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第7期 第5回）		
日時	令和元年7月18日（木） 18：00～19：30	場所	市役所2階庁議室
出席者	委員11人 事務局：3人（市民協働推進課長、市民協働推進係長、市民協働推進係主任）		

議題	<p>(1) 市民提案型協働事業実績評価 【事業名】千歳市家庭生活宣言普及事業</p> <p>(2) 市提案型協働事業実績評価 【事業名】かつ婚ちとせ開催事業</p> <p>(3) ひと・まちづくり助成事業選考審査 【事業名】：みんな HAPPY パパの育児応援事業</p> <p>(4) その他</p>
決定事項	<p>(1) 市民提案型協働事業実績評価 事業名：千歳市家庭生活宣言普及事業 次のとおり評価を実施した。 サービス 4.90 事業効果 4.60 得意分野 4.60 ノウハウ 4.70 きっかけ 4.90 ●ファイルを活用することで親子でコミュニケーションのきっかけになるので良い取り組みである。子どもの意識よりも親の意識を変え、取り組みを継続していくことが大事。</p> <p>(2) 市民提案型協働事業実績評価 事業名：かつ婚ちとせ開催事業 次のとおり評価を実施した。 サービス 4.00 事業効果 5.00 得意分野 4.00 ノウハウ 4.00 きっかけ 4.00 ●セミナーとパーティーを組み合わせる等、参加者目線に立った企画が実施されており、周知方法も多様で幅広く充実している。今後は男性が申込みをしやすい企画にすると良い。成果が出ているのでぜひ継続してほしい。</p> <p>(3) ひと・まちづくり助成事業選考審査 事業名：みんな HAPPY パパの育児応援事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●申込者多数で参加できなかった方へ、次回のイベントに優先的に参加できるなどの配慮があるとなお良い。今後、自主事業として継続するために本事業を通じてパパ同士のつながりを広げるとともに、会としてのさらなる発展を期待する。</p>

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

<p>(1) 市民提案型協働事業実績評価 事業名：千歳市家庭生活宣言普及事業 ＜質疑応答＞ ◎家庭学習や携帯のルールは先ほどの説明のとおり各家庭で温度差があると思う。家庭学習時間を学年+10分推進しても、家庭の様々な反応があると思うが、これをクリアファイルやポスターで作り、各学級にポスターを掲示することを通じて、常に目に触れるところにあるということが良い。小さな踏み出しかもしれないが目に見える形が良いと思う。各学校の取り組みの報告もいただいているので</p>

すが、全ての学校が同じではなく、各学校の特色を活かしながら取り組んでいるところも良い。協働事業としては終了するが、家庭生活宣言を盛り込んで常に各家庭に知らせていくという方向は継続していただきたい。

◎クリアファイルは、新入生への配布はどうか。

■来年度の1年生までの分は残っている。

◎クリアファイルを見て親への周知にもなるので続けた方が良い。

◎町内会で子どもの行事を行うと、すぐにゲームをするのが実情。小学生はどれくらいスマホやゲームを持っているのか。

■ゲームはほとんど持っていると思う。

◎一部の保護者から聞くと、スマホを持たせるのは中学生からというルールがあるように思う。小学生はどうか。もう一つは、そういうぜいたく品を持たせる余裕がないということである。私たちも子どもたちを地域で見守る責任があるので、この企画は良いと思った。ぜひ続けていただきたい。

◎通信媒体は、情報源として必要なものであるが、使い方である。継続して周知してほしい。

◎クリアファイルやポスターはある程度来年度分まで確保しているとのことだが、何かこれから新たにやりたいことはあるか。

■新しいことをやるのは難しいと思う。今の取り組みを継続していくことが重要。子どもも変わるし、親も変わるので、同じことをやっても人が変われば変わると思う。

(2) 市提案型協働事業実績評価

事業名：かつ婚ちとせ開催事業

◎今後市として協力できることがあればしていくことはあるのか。

□イベントを行う際に、集客が難しい。女性はすぐ定員となるが、男性はなかなか申し込みが伸びず今後もそこは課題と思いで、市であればメルマガやブログ、圏人会は facebook 等の広報媒体があるので、そこは連携してやっていると良いとは思っている。実際、圏人会に限らず、自衛隊でも婚活イベントを行っており、そちらとも連携をしている。

◎圏人会のみでやっていた時のイベントは出会いの場の提供に留まり、成婚というところを目指してのイベントではなかったのか。

■成婚を目指してはいたが、そこに向けてのアクションを起こしてはいたわけではない。結婚された場合、旅行券を差し上げることは周知していたが、それに対し、イベントでカップルになった方へアンケートをとることはしていなかったため、参加者から連絡をいただかないと把握ができない状況であった。

◎成婚された方の記念品は何であったか。

□市長からのお祝いメッセージ文と、千歳市に婚姻届を出された方限定となるが、フレーム付き婚姻届受理証明書を贈呈している。

◎2組とも千歳市に居住しているのか。

□そうである。

◎きっかけづくりは必要。どう接して良いかわからないので避けて通るという人もいる。

◎セミナーとパーティーをセットにしたことは良かった。婚活の手法を教えてもらえるセミナーの内容が、パーティーで参加者同士の会話の話題にもなりとても良い。

◎自分からなかなか話ができない方のおぜん立てが更に必要であると思った。事業としては続けるが良いと思う。

(3) ひと・まちづくり助成事業選考審査

事業名：みんなHAPPY パパの育児応援事業

◎幅広く案内していると思うが、定員20組以上申し込みがあった場合にどうするのか。

■先着順でメールで受け付ける予定である。前回も、前々回も定員以上のお申し込みがあったが、参加

できなかった方については、事務局からお詫びのご連絡をしている。

◎目的のところに、育児参加と地域活動の参加に対する啓蒙と記載があるが、この事業を見ると育児参加が主と思ったが、これに参加することが地域活動参加になるということか。他に町内会等の活動に参加するなどあるのか。

■イベント自体はイベントへの参加となってしまうが、他にパパの会として地域のイベントから声をかけていくことがあり、都度メンバーにメーリングリストに声かけし参加している。

◎7月に支笏湖に行った際に、ちょうどカヌー体験をしていた。未就学児も楽しそうに参加していた。例えば、20組先着で区切った際に、次の焼き芋体験には先着で漏れた方を優遇するなどの措置はあるか。

■これまで2年間事業実施してきて、同じ人が参加から漏れている状況がなかった。実施の曜日や日にちの設定でまんべんなく多様なお客様が参加できている状態だった。これまでトラブルになったことはなかったが、例えば2回目のイベントを優先的に参加できるようにするなど考える必要があるかもしれない。

◎今回参加できない方へ次のイベントを案内すると参加してくれるかもしれない。

(4) その他について

次回開催は9月を予定。